

筑波大学 形成外科 専門研修

形成外科とは

形成外科とは全身の体表の整容・形態的な問題を機能的問題とともに解決する科であり、今日の医療の質向上には欠かすことの出来ない科です。対象年齢は新生児から高齢者におよび、対象部位は足先から頭部まで幅広い範囲にわたっています。体表が多いため、手術の結果がわかりやすく、やりがいのある科です。

医療の向上とともに、生命予後から QOL の向上へと患者ニーズが高まり、形成外科が各施設でますます必要とされています。2013 年度より乳房インプラントも保険収載され、女性で最も多い乳癌患者の再建も増加しております。また将来美容外科を行う場合も形成外科での研修が重視されています。

研修目標・プログラム

形成外科の基本は切除・縫合から始まります。いかにきれいな傷にするかが専門性の一つです。まずは救急・小手術の分野で基本をしっかり研修します。次いで植皮・皮弁などの手技を取得し、治療困難な傷を治す方法を学びます。また近年増加している他科共同手術において要求されるマイクロサージャリーの指導も行い、後期研修終了時には血管吻合・遊離組織移植による手術を可能にし、高度な手術を習得することが目標です。

当施設は症例が各分野で偏ってしまう都内などと比較しバラエティに富んだ多くの症例を術者あるいは助手として経験することが可能です。

形成外科で治療を行う主な疾患

分野	疾患
先天異常	唇・顎・口蓋裂、小耳症、多合指(趾)症、臍ヘルニア・臍欠損 など
外傷	交通外傷、顔面骨骨折、熱傷、褥瘡、術後瘢痕、難治性潰瘍など
腫瘍	血管腫、皮膚良性腫瘍、皮膚悪性腫瘍、ケロイドなど
他科再建	頭頸部再建・乳房再建（インプラント含む）、整形外科、脳神経外科、肝移植の再建など
美容外科	腋臭症、眼瞼下垂など

示したのはごく一部の代表的疾患ですが、多くの症例を経験できます。



専門医の取得

後期研修開始と同時に日本形成外科学会に入会します。後期研修で4年間形成外科学会認定施設・教育関連施設で研修し症例、論文、学会発表の要件を満たすと日本形成外科学会専門医の受験資格を得ることができます。学会発表・論文は教員よりテーマを与え指導いたします。

関連施設・他病院研修

関連施設は下記のように県内を中心に多くありますので、多岐にわたる研修が可能です。

水戸済生会病院、水戸医療センター、水戸赤十字病院、日立大宮済生会、茨城県立中央病院、磐城共立病院、嶋崎病院、霞ヶ浦医療センター、筑波学園病院、筑波記念病院、牛尾病院、木根渕病院 など
また後期レジデント中・終了後に幅広い知識・専門性を身につけるため他施設での見学・研修を奨励しております。希望により行き先は異なりますが、国立がんセンター、癌研有明病院、蘇春堂形成外科、European Institute of Oncology(Mila, Italy), Chang Gang Memorial Hospital(Taipei), University of Kentucky(USA), Gent University(Belgium) などです。

本年度の保険点数改訂において、当科の行っているマイクロサージャリーなど難易度の高い手術が大幅に加点されている反面、比較的難易度の低い手術については現状維持または微減となっています。

また2010年より開始した乳房再建外来により、乳房一次、二次再建症例数も増加し、さらに2013年度より乳房インプラントが保険収載され、女性で最も多い癌である乳癌の再建も増加しております。専門性の高い形成外科の社会的必要性は益々高くなっております。

手先の器用さが必須と思われるかもしれませんが、実はそうではありません。重要なのは患者を一人の人間として向き合い、どのように考えて治療するかであり、研修により手術手技は身につけることができます。これから多くの可能性のある科であり、若い先生の参加を歓迎いたします。

研修については下記へ気軽にお問い合わせください。

HP: <http://www.md.tsukuba.ac.jp/clinical-med/plastic/hajimeni.html>

連絡先: e-mail: tkeisei@md.tsukuba.ac.jp 電話 : 029-853-3210